

リハビリテーション技術科の実績 と 新たな取組みの紹介

言語聴覚士(ST) 岩崎佳乃子 大畠尚子 久保田恵理 黒山知穂乃

作業療法士(OT) 石向航 尾田睦 小野雄紀 菊池聰恵 水上紘司 安本良子

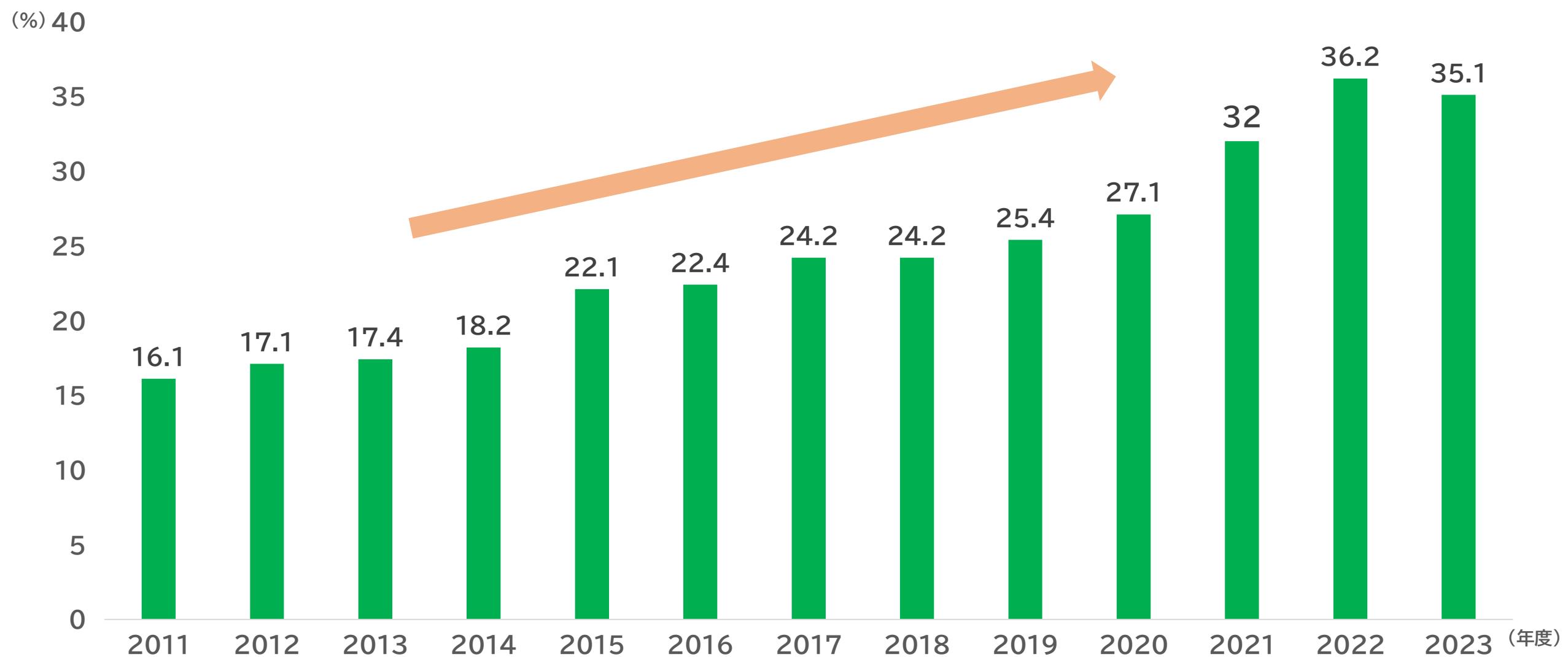
理学療法士(PT) 芦田拓真 小野田博繁 小柳慎介 佐藤俊史 佐野正人 篠原宏幸

鈴木康介 杉山和寛 曽根祥仁 高塚俊行 田中伸明 中沢稔

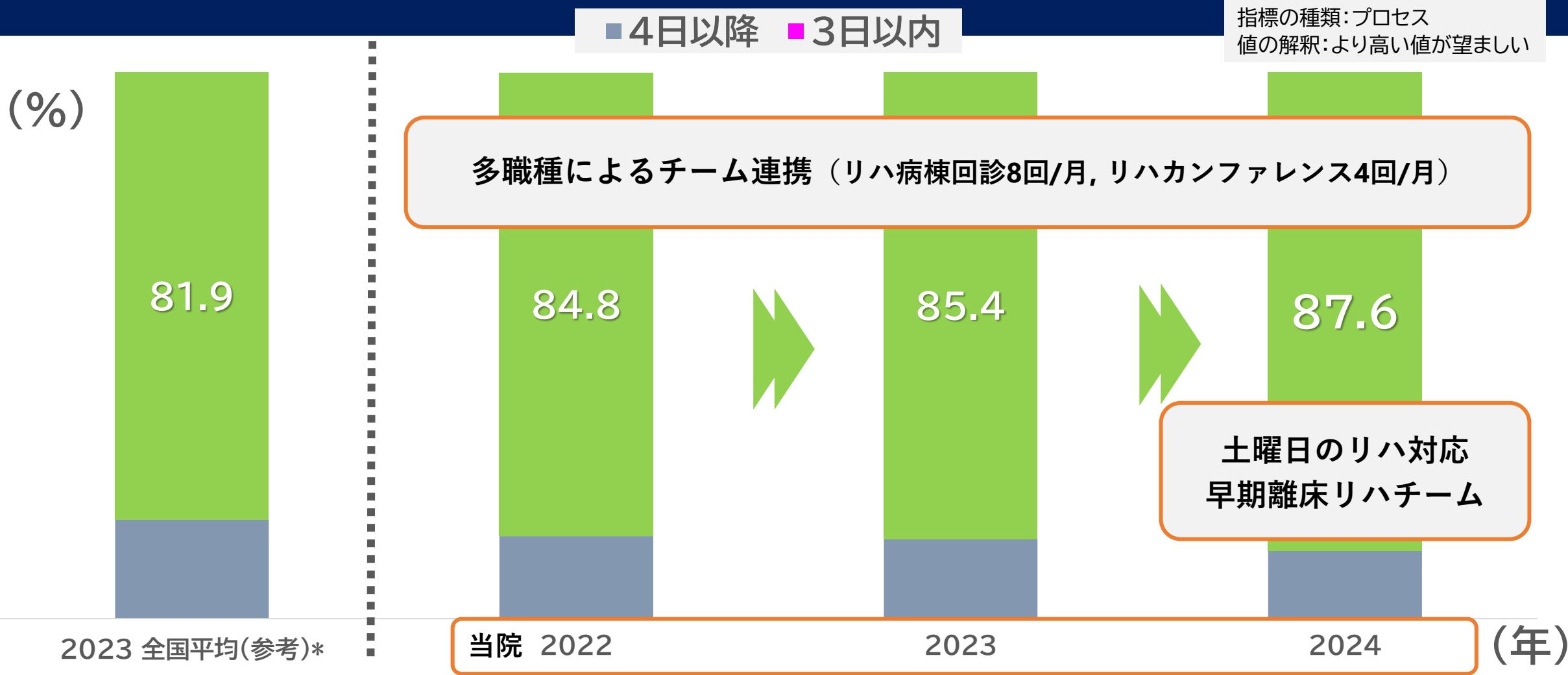
栗山水萌 藤吉翔吏 牧野泰枝 増田晋哉 増田千絵 葛西徹

鍋田潤希

入院患者のリハビリ実施率



脳梗塞患者 早期リハビリ治療介入率 (入院後 3 日以内)



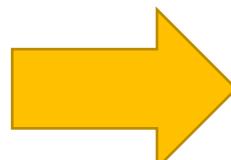
*日本病院会HP:2023年度
QIプロジェクト
結果報告より作図

脳卒中治療ガイドライン2021

「十分なリスク管理のもとに、**早期**座位・立位、装具を用いた**早期**歩行訓練、摂食・嚥下訓練、セルフケア訓練などを含んだ積極的なリハビリテーションを、発症後できるだけ**早期**から行うことが推奨されている(**推奨度A**)。」

高齢化が進行中 そして心不全患者が増加中

- 日本は世界一の高齢化率（29.1%）...65歳以上の割合
- 令和6年静岡県の**高齢化率：30.7%**（過去最高）...10年前は22.4%
- 今後数十年間、後期高齢者人口だけ増え続ける
- **循環器病**による患者数、死亡数は確実に増加する
- 2025年（団塊世代が75歳以上）には、心不全患者はさらに増加し、多くの病院では**心不全患者であふれる**と危惧されている
- 当院は、まさにこの状況になっていく



ここへの対策が急務である！

新たな取り組み 心不全早期Activity の導入

- 限られたマンパワーで心不全パンデミックと戦う
- Hospitalization-associated disability**（入院関連機能障害:HAD）を防ぐ
- 認知機能低下を防ぐ
- 心不全教育も行う

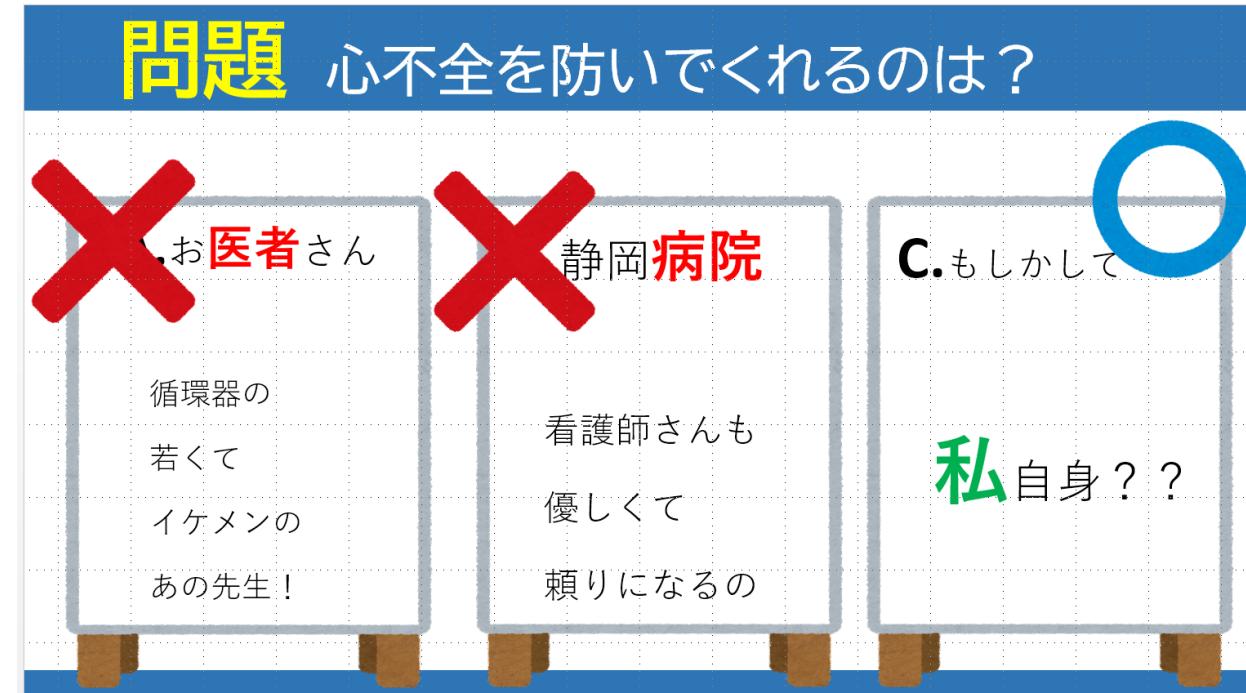
- 対象者は 主に高齢心不全患者
- 心不全治療に問題がなければ
早期に参加
- カテコラミンサポート下でも！



心不全早期Activityの実施内容

- 運営者：理学療法士・作業療法士
- 対象者：心不全入院患者
- 頻度：毎週水・金曜日
- 時間：10：00～11：00
- 内容：心不全講義、
ストレッチ・筋力トレ
有酸素運動
塗り絵、脳トレプリントetc.

心不全講義



心不全早期Activity の様子



心不全講義



ぬりえ・脳トレ

自転車エルゴメーター



ストレッチ・筋トレ

高齢の方でも
わかりやすく、楽しくなるよう工夫しています



心不全クイズ
参加型で楽しく！